

## 通期の見通し

### 経済の先行きは不透明ながら、景気の持ち直しを期待

今後の経済状況につきましては、今夏の節電対応が生産活動などに及ぼす影響や米国と欧州、新興国における経済情勢の行方など不透明な状況はあるものの、サプライチェーンの立て直しや復興需要の顕在化により景気が持ち直していくことが期待されます。

また、企業においてはIT投資に慎重な姿勢をとりつつも、一方ではシステム更新需要や省電力化への対応、クラウドの活用、IPv6への対応などのIT需要も健在であり、新たな投資機会も期待されます。

### 企業のIT活用ニーズ、買い換え・更新需要は底堅い

このような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループは、引き続き地域密着型運営体制の強化、投資対効果の高いシステム提案を積極的に行い、当社グループの持つ総合力を今まで以上に発揮していきます。さらに複数の製品やサービスを組み合わせたパック商材の整備・拡充、魅力ある保守サービスの開発等ストックビジネスの充実を通じて、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の強化を図ります。

### 2011年のIT市場予測

景気は秋以降、回復基調に復帰か

企業の設備投資は、緩やかに持ち直しへ

企業のIT活用ニーズ、買い換え・更新需要は底堅い

節電ニーズの長期化

### 2011年の方針と施策

スローガン

『お客様の信頼に応え、ITでオフィスを元気にする』

ワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、お客様接点を強化

潮目の変化を掴みITニーズを顕在化させる

顧客深耕と新規開拓を並行して進める

総合提案・複合提案の推進

ストックビジネス強化

## セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線等を組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進します。また節電対策やデータセンターの活用など、時宜を得た提案も積極的に行いITを通してお客様を支援していきます。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、システムインテグレーション事業の回復を保守等のサービス契約増につなげ、併せてハードウェアに依存しない新しいサービスを増やします。



<http://www.tanomail.com/>

## 通期の業績予想

通期の連結業績予想は以下の通りです。

売上高4,860億円(前年同期比4.9%増)、営業利益210億円(前年同期比10.4%増)、経常利益215億円(前年同期比10.2%増)、当期純利益107億20百万円(前年同期比0.8%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業が2,681億円(前年同期比5.7%増)、サービス&サポート事業が2,165億円(前年同期比4.1%増)、その他の事業が14億円(前年同期比27.9%減)。

2011年2月1日に発表した連結業績予想に変更はありません。

### 売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2010年 12月期	2011年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	463,493	486,000	+ 4.9%
営業利益	19,013	21,000	+ 10.4%
経常利益	19,508	21,500	+ 10.2%
当期純利益	10,631	10,720	+ 0.8%

### セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2010年 12月期	2011年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	253,541	268,100	+ 5.7%
サービス&サポート事業	208,008	216,500	+ 4.1%
その他の事業	1,942	1,400	- 27.9%